

# 基本方針 4

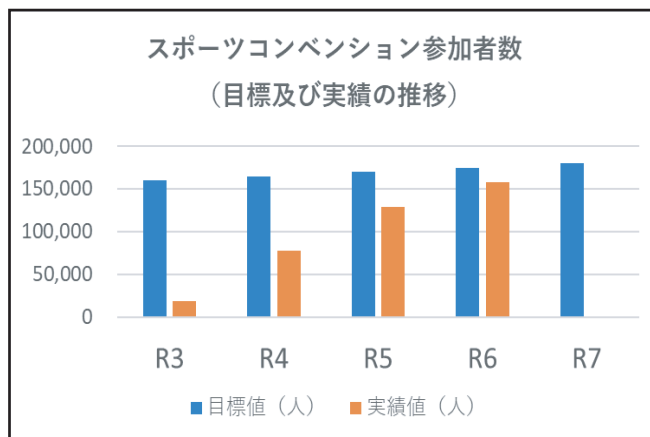
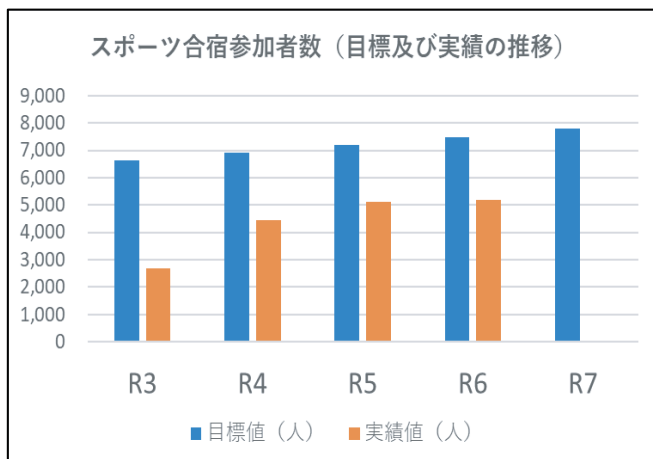
## スポーツを通じた 地域の活性化



### 現状と課題

#### ○スポーツ合宿・大会誘致について

新型コロナウイルス感染症の影響を受けスポーツ合宿・コンベンションともに参加者数が大幅に減少しましたが、「長崎県スポーツコミッション」を中心に、人脈やオンラインを活用し誘致活動を行ってきたことや、市町の受入ノウハウの蓄積などもあり、コロナ禍前の実績と比較して、合宿については同程度まで回復し、コンベンションについては令和5年度以降上回っている状況です。



今後は、引き続き市町等の関係者と連携し、地域のブランド力向上などにつながる影響力の高いチームの合宿やコンベンションの誘致に取り組んでいくとともに、スポーツによる交流人口の拡大など地域活性化をさらに推進していくため、県外からも多くの観客数が見込める観戦型スポーツイベント※1の誘致にも積極的に取り組んでいく必要があります。

#### ※1 観戦型スポーツイベントとは

主に観客が試合や競技を観戦することを目的としたスポーツイベント。

- 例) ・プロ野球やJリーグの公式戦
- ・各競技のナショナルチーム等による国際親善試合 など



©VVN

**【参考】ツール・ド・九州2025佐世保クリテリウム**

開催日：令和7年10月10日（金）  
 会場：「させば五番街」周辺  
 出場：18チーム（106人）  
 観客数：13,500人



**○市町や競技団体等との連携について**

「国際県長崎」として培ってきた海外との交流の歴史や、多くの離島や半島を有する豊かな自然環境など、魅力ある地域資源は、スポーツ分野において、県内全域で十分に活用しきれていない側面があります。こうした地域の特色を効果的に活かすためには、市町や競技団体、観光関係団体等との連携を強化し、地域が一体となって取組を推進していくことが重要です。

**○プロスポーツクラブについて**

「V・ファーレン長崎」に加え、新たな地元プロスポーツクラブである男子バスケットボール「長崎ヴェルカ」が国内トップレベルのリーグに定着し、令和6年秋には両クラブの本拠地となるスタジアム・アリーナを中心とした「長崎スタジアムシティ」が開業するなど、本県のプロスポーツが全国的にも注目を集めています。

この機会を活かし、両プロスポーツクラブをはじめ市町や関係団体等との連携を強化することで、交流人口のさらなる拡大や県民のシビックプライドの醸成につなげていくことが重要です。



©n-velca